
第2回 移動半島ツーリズム大学 in 館山

平成14年2月19日(火)~2月21日(木)

学生(参加者)募集

あなたにとって「半島」はどんなイメージですか？
“最果て”“遠い”“行き止まり”
それも「半島」の一面
でも、それゆえに“非日常性”の地でもある
そこは、海、山、花、空、陽、“色”と“光”の競演の地
観光とは“光を観ること”
絶えず流れる日常を脱し、果てを感じ、光を受けて
また“明日から・・・”
移動半島ツーリズム大学は「半島」の観光を考える
“3日間の学校”
花咲き乱れる早春2月の千葉県館山市を舞台に
あなたもいっしょに、「半島」を感じ、考えてみませんか

<特 徴>

講師による講義だけでなくフィールドワーク、ワークショップの手法を取り入れます。

開催地域や同じ悩みを抱えた全国の半島地域だけでなく、都市地域からも学生(参加者)を募集し、それぞれの事例を参考にしながら“外からの目”も交えて議論を深めていきます。

“地域住民にとっても住み良いまちづくり”という視点を加え、幅広い角度から多様なテーマについて議論します。

ワークショップとは？

少人数で、参加者だれもが自由にアイデアを出し合い、意志を決定していく集まり。近年、住民参加型のまちづくり等の手法として注目されています。語源は作業場、仕事場です。

主 催 / 国土交通省、千葉県、館山市

後 援 / 半島地域振興対策協議会、半島地域振興対策議会議長連絡協議会、

全国半島振興市町村協議会、南房総地域半島振興協議会

館山市、勝浦市、鴨川市、富津市、大多喜町、夷隅町、御宿町、大原町、岬町、富浦町、富山町、鋸南町、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町、天津小湊町)

事務局 / 財団法人日本交通公社

<大学の開催にあたって>

全国の半島地域の多くは、その地理的条件などから、人口の減少が進み、産業基盤や生活環境の整備が他の地域に比べ低位な状況にあります。

このような地域の活性化を図るため、半島振興法に基づき指定された全国の23地域において、半島を一周する半島循環道路等の交通体系の整備、新規企業立地の促進等の様々な施策が展開されています。

一方、半島は、本土から海に突き出ているという独特の地形から、多様な自然資源を有し、国民のやすらぎ、憩いの場として利用されるほか、歴史的・文化的資源に恵まれ、国民の貴重な観光資源ともなっています。

本大学は、半島地域の住民のみならず、都市住民も含めた様々な年齢層、職種の方々に入学（参加）していただき、半島地域の観光資源の活用方法について知恵を出し合うことで、不利な条件を乗り越えられる、観光を通して半島地域の活性化のあり方について考えるものです。

スケジュール

2月19日(火) (公開講座：館山市・千葉県南総文化ホール 大ホール)

時間	内容
13:30	開講
13:45	学長挨拶・スピーチ 立教大学教授 溝尾 良隆氏
14:00	特別対談：「南房総の自然と風景」 写真家 浅井 慎平氏 千葉県知事 堂本 暁子氏
15:05	半島地域活性化優良事例表彰式及び事例発表
16:15	パネルディスカッション：「半島の魅力を掘り起こす」 パネリスト：千葉県富浦町 枇杷倶楽部 加藤 文男氏 千葉県館山市 須藤牧場 須藤 陽子氏 愛知県足助町観光協会事務局長 縄手 雅守氏 ゆとり研究所 代表 野口 智子氏 コーディネーター：日本大学 教授 近藤 健雄氏
18:30～ 20:00	交流会 (たてやま夕日海岸ホテルにて)

2月20日(水) (ワークショップ：館山市コミュニティセンター)

9:00	終日・ワークショップ 4つのテーマごとに分かれ、コーディネーター等による講義・事例報告・意見交換を行うとともに、会場を出てフィールドワークや視察、ヒアリング等を行った後、議論を整理します。
17:00	テーマ1．農林漁業の体験交流を通じた地域の活性化 テーマ2．地域を歩いてふれあう潜在資源の発掘 テーマ3．海へ開けたまちづくり テーマ4．おすすめ広域観光ルートの再発見

2月21日(木) (ワークショップ発表会：南総文化ホール 小ホール)

9:00	ワークショップ発表会 4つのテーマごとに前日の議論の結果について、発表者を決め報告します。 意見交換会 報告にもとづき自由に意見交換を実施します。
12:00	学長総括 溝尾学長から3日間の活動の講評、まとめを行います。
12:20	閉講

1 農林漁業の体験交流を通じた地域の活性化

半島地域の多くは、海流の影響等により豊かな漁場が形成され、沿岸漁業や養殖業が盛んであるが、近年の漁価の低迷により厳しい状況に直面している。館山市と周辺町村では、漁業・漁村の活性化のため、物産販売や体験漁業等、観光との連携を模索しているが、本格的に観光産業に踏み出すまでは至っていない。一方、花き栽培は、2月期の観光のメインであり、体験農業も一部では取り組まれている。それらの事例を実際に視察しながら、さらに充実、発展させるための取組はいかにあるべきかを検討する。

コーディネーター 羽田 耕治氏 / 横浜商科大学教授

2 地域を歩いてふれあう潜在資源の発掘

半島地域をはじめ多くの地方都市においては、従来の商店街を中心とする『街』が、クルマ社会の進展や店舗の郊外化などにより活気を失いつつある。観光の玄関口である館山駅東口側の商店街も人通りが少なくなってきたおり、地域の生活・社会全体での取組として、歩き、人とふれあい、半島地域の文化・風土をヒューマンレベルで感じてもらえる観光のまちづくりが問われている。顕在している資源・施設だけでなく、見過ごされてきた、隠れた観光素材を実際に歩きながら『発見』し、それらをいかに観光客に体験してもらおうかについて検討する。

コーディネーター 野口 智子氏 / ゆとり研究所代表

3 海へ開けたまちづくり

半島地域は、かつて情報・文化の最先端地域であり、内外との交易拠点でもあったが、移動手段が船舶から鉄道や自動車、航空機に移り、海辺のまちは、交通の拠点から観光ポイントへと変遷をたどっているところが多い。海に面する館山駅西口側では、区画整理に伴い、新たに駅舎と住宅・商店をオレンジ瓦・白壁にし、街並み景観の統一を進めている。また、館山港が特定地域振興重要港湾に選定され、海岸・多目的観光棧橋の整備が今後見込まれている。半島地域に“海”は共通する資源であり、観光面で海辺のまちが取り組めるハード、ソフトの方策は何かを検討する。

コーディネーター 近藤 健雄氏 / 日本大学教授

4 おすすめ広域観光ルートの再発見

半島地域は、高速道路や新幹線などの幹線交通体系から離れており、半島の先端部まで観光客を呼び込むには、関係市町村の広域的な連携が不可欠である。特に、滞在型観光の定着には、それぞれの地域の観光資源を結びつけたストーリー性のある観光ルートの確立や、既存の組織・団体だけでなく、民間、ボランティアレベルも含め、外へ向けてどのように半島地域の観光をアピールするかが課題となっている。

南房総は、戦国大名里見氏の文化が残る地であり、“やぐら”“城郭”などの歴史的資源が各地に存在することから、当地域の共通テーマとしてそのアピール方法を検討する。

あすけちょう

コーディネーター 縄手 雅守氏 / 足助町観光協会事務局長

参加申し込み 要項

- アクセス：** 東京駅より：ＪＲ内房線特急で館山駅まで２時間 または
東京駅八重洲南口発ＪＲハイウェイバス房総なのはな号（予約制）にて
南総文化ホールへ直結（所要２時間半）
羽田空港から：リムジンバスＪＲ木更津駅ゆき（約４０分）木更津駅か
らＪＲ内房線で館山駅まで（約１時間１０分）
ＪＲ館山駅前より南総文化ホールまで無料シャトルバスがあります。
公開講座会場から交流会会場、及び２日目以降の宿舎 - 会場間の移動も無
料シャトルバスがあります。
- 募集定員：** 各ワークショップ１５名 合計６０名
ワークショップは各テーマごとに場所を移動しながら実施します。
下記締切前でも定員になり次第、募集を打ち切らせていただきます。
ご希望のワークショップに参加できない場合もございますので、予めご了
承ください。
２／１９（火）公開講座はツーリズム大学参加者以外の方も無料で聴講
できます（事前に申込みください）。**定員 １，２００名**
- 参加費用：** 移動半島ツーリズム大学・参加費用・・・・・・・・・・ 無 料
宿泊希望の方の宿泊費、及び２日目の昼食代は別途実費負担となります。
宿泊費（たてやま夕日海岸ホテル）・・・・２泊２朝食 １４，０００円
（但し、税・サービス料込み特別設定料金。１泊の場合は７，０００円）
部屋は和室のため原則として相部屋（３～４名１室）となります（同室
希望のある場合及び１泊のみのご利用は別途ご相談に応じます）。
お申し込み後、宿泊確認証及び請求書をお送りしますので、指定口座に
振込をお願いいたします（宿泊取扱：ＪＴＢ団体旅行日本橋支店）
２月１９日夜の交流会・参加費用・・・・・・・・・・お一人様 ３，０００円
参加希望の方は、当日会場受付にてお支払いください。
- 宿泊先：** たてやま夕日海岸ホテル 千葉県館山市八幡 822 : 0470 (22) 3855
- お申込み方法：** 別添の申込書にご記入の上、事務局まで FAX にてお送り下さい。
受付後、折り返し参加証をお送りいたします。
右記ＨＰからもお申し込みいただけます。<http://www.jtb.or.jp/hantou.htm>
- お申し込み締切：** **2002年2月5日（火）**
- お問い合わせ先：** 第２回 移動半島ツーリズム大学 事務局
財団法人日本交通公社 佐久間・巻山
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 第一鉄鋼ビル9F
TEL:03-5208-4726 FAX:03-5208-4706

半島振興法による２３の指定地域（２２道府県３７８市町村）の概況、半島振興法の仕組みや半島振興対策の内容に関しては、こちらをご覧ください。

国土交通省ホームページ「半島の宝物」<http://www.mlit.go.jp/crd/hanto/index.html>

千葉県、館山市の概況に関するホームページはこちらへ：

千葉県ホームページ <http://www.pref.chiba.jp/>

館山市ホームページ <http://www.city.tateyama.chiba.jp/Welcome.htm>

移動半島ツーリズム大学学生参加申込書

FAX:03-5208-4706 財団法人日本交通公社 企画部：佐久間・巻山行

2002年2月5日(火)までに FAX にてお送りください。

記入日： 年 月 日

学生参加（2泊3日ワークショップコース） 19日公開講座の聴講のみ

- 必ずいずれかのコースを選択しレ印をお付けください。
- ・2泊3日ワークショップコースの方は下記の欄全てにご記入ください。
 - ・宿泊・交流会及びワークショップはご希望の選択肢の にレ印をお付けください。
- (19日公開講座の聴講のみご希望の方は太枠内のみご記入ください。)**

ご参加者名 (ふりがな)					
団体名					
所属・役職名					
ご住所	〒				
TEL		FAX			
E-mail					
宿泊希望	2/19	有・無	2/19	参加	
	2/20	有・無	交流会	不参加	
ワークショップ	第一希望	1 2	3 4		
	第二希望	1 2	3 4		
ご請求先住所 及び団体名	(ご請求先が上記と異なる場合のみご記入ください)				
航空予約 (希望者のみ)	(往路) 搭乗日： 便名：		搭乗区間： 出発時間：		
	(復路) 搭乗日： 便名：		搭乗区間： 出発時間：		

同一団体から複数の参加者がある場合はコピーを取り、1人ずつお申し込みください。

往復航空券手配をご希望の方へ

東京(羽田)までの往復の航空券の手配をご希望される方は、申込用紙の **航空予約欄** に希望の路線・便名をご記入ください。航空券ならびに請求書を発送いたします。
(早割・特割等を希望の場合はその旨ご記入の上お申し込みください。)

海、山、空、太陽、花…

房総半島・館山は、多彩な魅力にあふれています。

「移動半島ツーリズム大学」開講!



公開講座 (2月19日(火) 13:30~)

●特別対談「南房総の自然と風景」



写真家 浅井 慎平氏



千葉県理事 堂本 爽子氏

聴講生募集! ◎聴講無料
どなたでも参加できます。

移動半島ツーリズム大学とは

半島地域は、その独特の地形から多様な自然資源を有し、また、歴史的・文化的資源にも恵まれています。これらは、貴重な観光資源として考えることができます。その資源を「地域振興」に結びつける方策を「住民参加」で考えようというのが「移動半島ツーリズム大学」です。本年は、早春の花畑の風景に囲まれる房総半島・館山が舞台です。

スケジュール

2月19日(火) 館山市・千葉県南総文化ホール 大ホール

13:30 開講

13:45 学芸統括・スピーチ

立教大学教授 瀧岡 廣隆氏

14:00 特別対談「南房総の自然と風景」

写真家 浅井 慎平氏 千葉県理事 堂本 爽子氏

15:05 半島地域活性化議員事務所副所長 及び 事務局

16:15 パネルディスカッション「半島の魅力を再発見しよう」

<パネリスト> 富田地区振興 副所長 堂本 爽子氏、安藤 尚

ゆとり研究代表 野口 加子氏

<コーディネーター> 日本大学教授 近藤 雅彦氏

2月20日(水) 移動半島ツーリズム大学学生によるワークショップ

*学生のための研修となります。ワークショップの学生参加募集中。

2月21日(木) ワークショップ発表会(千葉県南総文化ホール 小ホール)

*発表・意見交換会は学生のための研修ですが、一般観覧可能です。

第2回 移動半島ツーリズム大学 2月19日、千葉県館山市で開講。

主催/国土地理院、千葉県、館山市

後援/半島地域振興財団協会のほか、千葉県観光振興局、千葉県観光振興協会、千葉県観光振興協会(館山市、長生町、鴨川市、安房町、大宮町、夷隅市、新宮市、大原町、新田、富田町、館山市、館南町、三芳町、白井町、平原町、丸山町、和田町、実業(株)等

連絡事務局/財団法人日本交通公社 TEL:03-6208-4798 FAX:03-6208-4708

国土地理院ホームページ「移動の発展」 <http://www.mlit.go.jp/ord/hanto/index.html>